

「受け継がれてきた精神を引き継いでいくために」

平成26年8月9日

夏の暑い日が続いており、台風やそれに関連する雨雲の影響で全国各地で大雨を観測しています。単純に夏といっても、晴れの日も汗がとまらないほど暑いですし、生活することに大変難しい季節になっています。食べ物がおいしい時期となる、「秋」が待ち遠しいところです。

さて、組合の話になりますが、われわれの荒尾市役所新職員組合は、ユース世代（35歳以下）がほぼ半数という構成する組合員にとっても特徴がある組合です。そのところで、専門部としてユース部を設置しており、その活動も幅広く活発に行われています。

一部例として挙げると、新人職員を歓迎するボウリング大会&懇親会があります。これは、毎年80名近くの参加者がある大イベントで新規採用職員はもちろんのこと、幅広いユース世代の組合員に参加いただいております。この交流の中で、新人職員にとっては、市役所の仕事についてや組合についていろいろな先輩方の話を聞けたり、また、ユース世代の組合員にとっては、職場でなかなか会わない同期や仲間と久しぶりに交流する機会となっています。

このユース部は組合としての人材育成の場となっています。ユース部では独自に役員を選出して役員会を開催して事業を展開しているのですが、このユース部をひっぱりユース部長は執行委員でユース部世代から挙げられた執行部へ伝える大事なお仕事もあります。このユース部長は卒業すると、組合の執行部はもとより、近年では単組の書記長として頑張ることになっています。執筆している私も前任はユース部長をいたしましたし、私の前任書記長、前々任書記長もユース部長からです。

先輩方から脈々と受け継がれてきた精神を引き継いでいくためにも、組織の人材育成はどの組織においても、どの時代においても大きな課題となっています。われわれの単組では、ユース部は大事な人材育成の期間としてとらえ、組合員のことを考えたり、事業を考えたり頑張ってもらっています。

今の役員の方々にも、たくさん悩んで、たくさん勉強して、強い組織づくりを目指していきたいものです。

